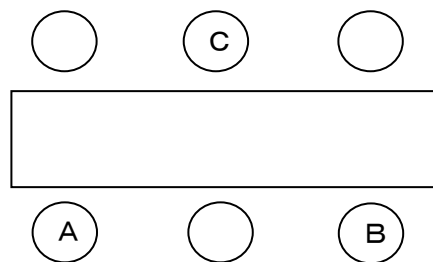


過去問ライブラリー 判断推理

国家Ⅱ種 2005 推理

問題

甲大学と乙大学の学生が交流会を開くことになり、その中で研究発表を行うこととなった。研究発表は、両大学のそれぞれ3人が、相手の大学の学生と1人ずつペアを組み、発表することとなったが、その打合せのため、発表者となる甲大学のA、B、C、乙大学のD、E、Fの6人が集まった。彼らは互いに初対面であり、図のようにテーブルを囲み、発表テーマ等について話し合ったが、ペアを組みたい相手についてのそれぞれの感想は次のとおりであった。



- A：私の向かいに座った人は専門分野が異なっていたため、ペアを組みたいと思わなかったが、隣に座った人は関心のあるテーマが同じで、ペアを組みたいと思った。
- B：私の向かいに座った人は熱心で、ペアを組みたいと思ったが、他の2人とはほとんど話せなかったためペアを組むことについては考えなかった。
- C：Fは幅広い分野について知識があり、ぜひペアを組みたいと思った。
- D：AとCは、関心のあるテーマが私と同じで、ペアを組んでもいいと思った。
- E：Bはまじめそうな人柄だったので、ペアを組みたいと思った。
- F：Bは性格が明るく、専門知識も豊富だったので、ペアを組みたいと思った。

この結果、BとFがお互いに希望が一致したため、ペアを組むことになった。その後、乙大学の学生のうちの1人が、甲大学の学生の名前を間違えていたことが分かり、さらに希望の一致する1組のペアが成立した。

以上のことから、確実にいえるのはどれか。

ただし、話し合いの中で、乙大学の学生の1人が甲大学の学生の名前を間違えたこと以外には、間違いはなかったものとする。

1. 甲大学の学生の名前を間違えたのはDである。
2. 甲大学の学生の名前を間違えたのはEである。
3. 甲大学の学生の名前を間違えたのはFである。
4. Aの真向かいに座ったのはEである。
5. の真向かいに座ったのはDである。

解説

まず、BとFの希望が一致したことから、**Bの向かいにF**が座ったことが、Bの発言からわかります。

これより、Fを希望したCは、希望がかなわなかったので、甲大学でその後**もう1組ペアになったのはA**とわかります。

Aの希望は、となりに座った人で、DかEになりますが、**Dは話し合いの中でAも希望する1人として挙げています**ので、名前を間違えていることになりません。

これより、**Aが希望したのはE**となり、Eの発言から、EはAの名前をBと間違えて発言したことがわかります。

以上より、座席は次のようになり、正解は肢2となります。

